

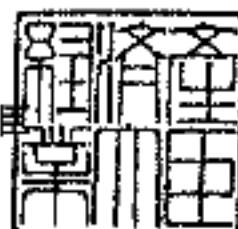
経済産業省

平成14・02・15原第23号

平成14年2月20日

原子力委員会委員長 殿

経済産業大臣



日本原燃株式会社再処理事業所における再処理の事業の変更許可
について（一部補正）（通知）

平成13年12月14日付け平成13・07・17原第24号をもって諮問した上記の件について、平成14年2月15日付け再計発第183号をもって日本原燃株式会社 代表取締役社長 佐々木 正 から別添のとおり再処理事業変更許可申請書添付書類の一部補正があったので通知する。

再 処 理 事 業 所
再処理事業変更許可申請書

添付書類の一部補正

平成 14 年 2 月

日本原燃株式会社

経済産業大臣

平沼赳夫殿

青森県青森市本町一丁目2番15号

日本原燃株式会社

代表取締役社長 佐々木 正

再処理事業所再処理事業変更許可申請書

添付書類の一部補正について

平成13年7月17日付け再発第30号をもって申請し、平成13年12月4日付け再計発第89号をもって一部補正しました当社再処理事業所再処理事業変更許可申請書の添付書類を別添のとおり一部補正いたします。

本資料の記載内容のうち、内の記載事項は企業機密に係る情報に属するものであり公開できませんので削除をしています。

(添付書類二)

添付書版二を以下のとおり補正する。

ページ	行	補 正 前	補 正 後
*2-1	上から2行	金属ウラン質量換算	(左記に係る補正を削除)
2-1	上から7行	下記項目の記述を右記のとおり変更する。 ロ. 変更に係る再処理施設による再処理の事業の開始の日以後10年以内の日を含む毎事業年度における使用済燃料の種類別の予定再処理数量及び取得計画	別紙1の記述に変更する。
2-3	上から8行	下記項目の記述を右記のとおり変更する。 四 工事に要する資金の調達計画	別紙2の記述に変更する。
2-4	上から3行	下記項目の記述を右記のとおり変更する。 四 資金計画	別紙3の記述に変更する。
2-5	上から1行	下記項目の記述を右記のとおり変更する。 四 事業の収支見積り	別紙4の記述に変更する。

なお、*を付したページは、平成13年12月4日付け、再計発第89号で一部補正のページを示す。

ロ. 変更に係る再処理施設による再処理の事業の開始の日以後10年内の日を含む

毎事業年度における使用済燃料の種類別の予定再処理数量及び取得計画

ロ 予定再処理数量

(注1)

(単位: $t \cdot U_{P_r}$)

種類 \ 年度	平成 11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
(注2) 発電用BWR使用済 ウラン燃料	0	0	0	0	0	125	360	480	640	800	800
(注3) 発電用PWR使用済 ウラン燃料	0	0	0	0	0	84					

ロ 取得計画

(注1)

(単位: $t \cdot U_{P_r}$)

種類 \ 年度	平成 11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
(注2) 発電用BWR使用済 ウラン燃料	0	67	215	243	240	300	800	850	850	800	800
(注3) 発電用PWR使用済 ウラン燃料	24	29	125	160	160	200					

(注1) $t \cdot U_{P_r}$ は、照射前金属ウラン質量換算である。

(注2) BWRは、軽水減速、軽水冷却、沸騰水型原子炉である。

(注3) PWRは、軽水減速、軽水冷却、加圧水型原子炉である。

④ 工事に要する資金の調達計画

(單位：億圓)

年度		平成 ～14	15	16	17	18	19	20	合 計
工 事 資 金									21,941
調 達 計 画	自己資金等								10,556
	借 入 金								11,385
	合 計								21,941
備 考		借入金の調達は、政策投資銀行資金及び一般借入金による。							

(四) 事業の収支見積り

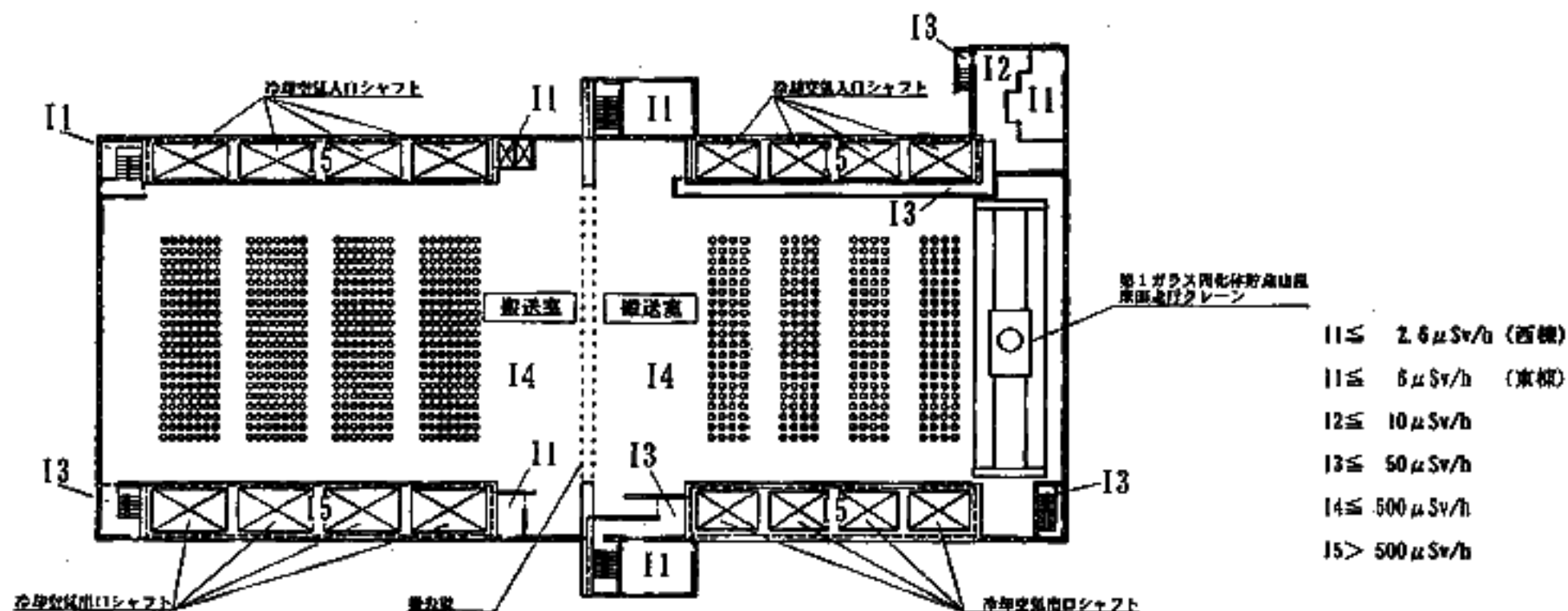
(單位：億元)

年度		平成										
摘要		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
総費用	収 益											
	製造原価 一般管理費 支払利息等											
	計											
	損 益											
損益の累計												
備 考		平成30年度には欠損の累計の解消を見込んでいる。										

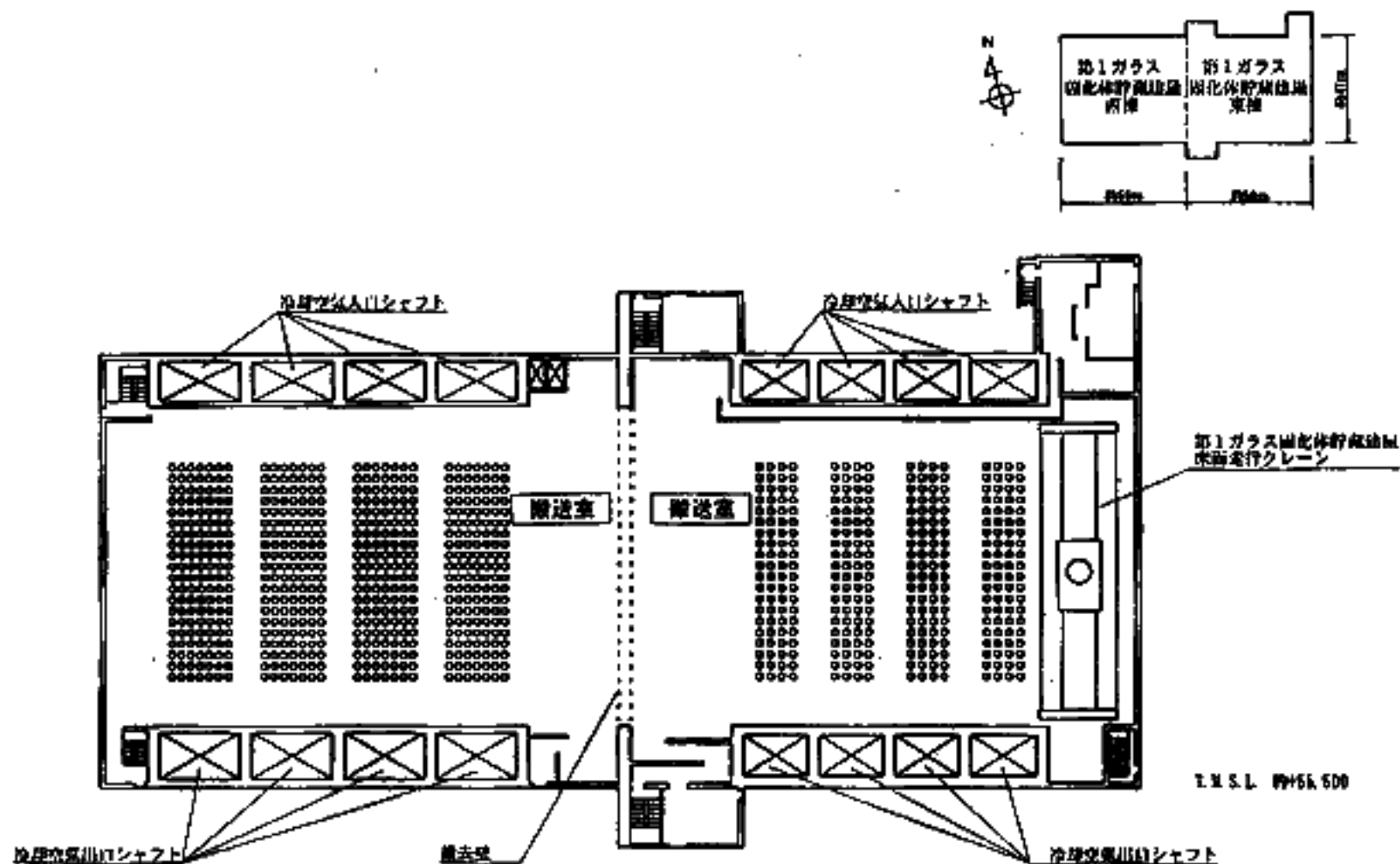
《添付書類六》

添付書類六 変更後における再処理施設の安全設計に関する説明書を以下のとおり補正する。

ページ	行	補 正 前	補 正 後
6-1-目-3	上から 8 行と 9 行	F-4 E J の出現頻度	F-4 E J 改の出現頻度
6-1-3-30	第 1.3-68 図	第 1 ガラス固化体貯蔵建屋しゅへい設計区分図（地上 1 階）	別紙 1 の図に変更する。
6-2-31	第 2.3-86 図	第 1 ガラス固化体貯蔵建屋機器配置図（地上 1 階）	別紙 2 の図に変更する。



第I.3-68図 第1ガラス固化体貯蔵建屋しゃへい設計区分図 (地上1階)



第2.3-86図 第1ガラス固化体貯蔵建屋機器配置図 (地上1階)